

注意事項

- ① 競技規則は現行の（公財）日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程、公認審判員規程により行います。
- ② ショートゲームはⅡ部のベスト8決定までとする。下記に注意。HPにも詳しい記載があります。

大阪高体連バドミントン部公式戦でのショートゲームは、次のようにします。

男女・単複にかかわらず、

1. 15点3ゲームのラリーポイント制。
 2. 14点オールになったら、2点差がつくまで延長ゲームを行う。
 3. 20点オールになったら、次に21点を取ったサイドがそのゲームの勝者となる
 4. 3ゲーム目は最初に8点が入ったとき、チェンジエンスをおこなう。
 5. 1ゲーム目と2ゲーム目、2ゲーム目と3ゲーム目の間には60秒を超えないインターバルを認める。このとき、2名以内のコーチの立ち入りを認める。20秒前にはコートに入り、コーチはコートから去ること
 6. 各ゲームで最初に8点が入ったとき、必要ならば汗ふき・ドリンク程度のインターバルを認める。
ただしこのときは、コーチの立ち入りは認めない。
 7. 上記5.6.のインターバル時以外でも、インプレーでないときのコーチのアドバイスを認めます。
- また、言うまでもありませんが、線審は審判であってコーチではありませんので、一切のアドバイスは認められません。もっと言えば、試合が終了するまでプレーヤーと接触(話など)をしてはいけません。

- ③ 正式ゲームについて。以下の点に特に注意してください。

1. ドリンク、汗ふきは極力インターバル時に行い、それ以外はマッチの進行に支障がある場合のみとしてください。
2. インプレー時以外のコーチについては、コート後方等の椅子に着席した状態で行ってください。立ち歩き等は認めません。また、くれぐれも試合の進行を妨げないようにしてください。妨げた場合は本部（レフェリー）の指示で退場になることがあります。
3. 着替えが必要なおとき（特に女子）は、インターバルの時間は考慮します。（着替え場所が遠い場合等）。かならず「着替えるので少し遅れるかもしれない」旨を、主審に申し出てください。

- ④ 競技予定時刻の30分前には試合のできる状態で待機しておくこと。

試合の進行は原則としてコート番号を優先し、タイムテーブルを目安に行います。点呼をとりませんので、各コートの進行状況（何番の試合が行われているか）と本部からのアナウンスに注意して行動して下さい。タイムテーブルの予定時刻を大きく過ぎてもコートに入らない場合は棄権とみなします。

- ⑤ 服装は、襟付き白単一色とし、ソックスは短いものとします。（いわゆるルーズソックスは認めません）。色つきの服装をする場合、日本バドミントン協会の審査合格品とします。

上着の背には規定のネームをつけること。つけていない時は棄権とみなします。

なお、この大会に限り、下衣は白色の長ジャージの着用を認めます。（上衣は認めません）

背面表示は上衣の地色に映える色で行ってください。

濃い青地・赤地に黒字、黄色地に白字などはだめです。指導された学校は次回より、そのウェアは使用しないでください。（ゼッケンをつける）

- ⑥ 主審は、敗者審判とします。従って、試合の敗者は次の試合（自分が試合をしたコート）の主審となるので、ジャッジペーパーと使用したシャトルを持ってすぐ本部席へ来ること。本部席で次の試合のジャッジペーパーとシャトルを受け取り、選手名と服装・ネームを確認後、公正かつ明瞭に審判をすること。
- ⑦ 各日の試合の2段目の選手は最初の段の審判をお願いします。放送に注意すること。
- ⑧ 棄権がある場合は早い目に本部席に届けること。

- ◎ 申し込みと試合期日にかなりの間隔がありますが、申し込み後の個人戦の選手変更、代理出場は認めません。これに違反した場合は、その時からその学校の6ヶ月間の公式戦出場を停止します。
- ◎ 会場には顧問の先生の付き添いをお願いします。
- ◎ ゴミは極力持って帰ってください。

- ⑨ 故意、もしくは故意と判断されるようなゲームの中断（汗を拭く、ドリンク、靴のひもを締め直す）は、禁止されている遅延行為に当たりますので、厳に慎んでください。目に余る場合は、本部席より注意をさせてもらいます。

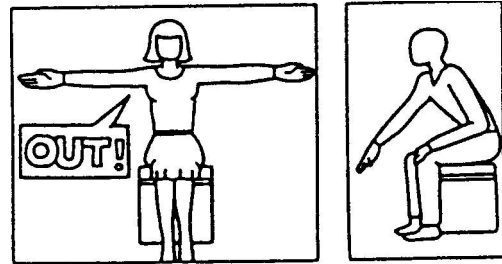
審判上の注意

<主審>

- ・個人戦では敗者審判制とします。（しっかりと審判できること）
- ・審判用紙・シャツルを本部より受け取り氏名・学校名・服装・背面ネームの有無を確認し同時にネットの高さ、ネットの両サイドのひもがボールに結ばれているかを点検する。
- ・審判は公正に選手・観戦者によくわかるように行うこと。
- ・個人戦の試合終了後は、勝者にサインをもらい、次の主審（敗者）に審判用紙 シャトルを渡す。

<線審>

- ・主審の「ラブオール」のコールで椅子に座る。
- ・ジェスチャーを正しく示す。
- ・「イン」……無言で片手をラインに指し示す。
- ・「アウト」……両腕を水平に開き合図する。
- ・イン・アウトの判断は自信を持って示す。
- ・姿勢正しく座る。



<審判用紙のつけ方>次ページを参考にしてください。

- ・審判 主審名を記入する。
- ・勝者署名 試合の勝者が得点を確認の上、記入する。

高体連マークの由来

このマークは、全国高体連が発足して、間もなく作成されたものであって、若人の力と技と明朗な精神を表徴するものである。

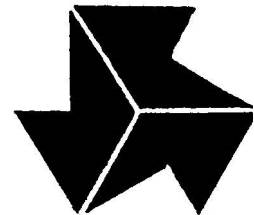
競技は力であり、進歩は技の錬磨に待つ、競技者はこれを包むに明朗な精神を持ってせねばならない。

高体連のマークを構成している三つのKは紅色によって浮き出され、若人の情熱を示すようなドイツ語の頭文字をとったものである。

力 KRAFT 技 KUNST

明朗な精神 KLARHEIT

このマークは、高体連旗となって、全国大会はもちろんのこと、高体連の主催による大会の会場で必ず見かけることと思う。



[使用 体 育 館]

<最寄り駅>

<電話番号>

ラクタブD（府立門真スポーツセンター）地下鉄鶴見緑地線門真南駅すぐ

東淀川（大阪市立東淀川体育館） 新大阪（JR東海道線、地下鉄御堂筋線）

06-6321-0003

臨海SC（大阪府立臨海スポーツセンター） 高師浜（南海高師浜線）

072-268-8351

千島（大阪市立千島体育館） 大正（JR環状線）

06-6553-7800

大阪府立山田高校 モノレール万博公園前駅南へ徒歩6分

大阪府立泉陽高校 南海高野線堺東駅北西へ徒歩8分

大阪市立南高校 地下鉄鶴見緑地線松屋町駅南へ徒歩1分

東大阪大学柏原高校 JR大和路線志紀駅より徒歩約20分

必ず事前に地図等でご確認ください。迷って試合に遅れた場合などは失格となります。

※ 体育館でのゴミは持ち帰ってください。

※ 今回使用しない体育館も含まれています。

